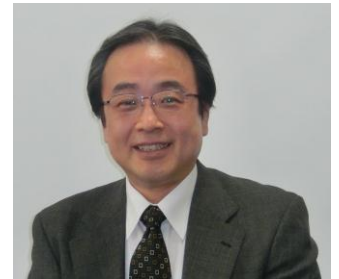


2021年 新年のごあいさつ



さぬき市民病院事業管理者・市民病院長 徳田 道昭



新年明けましておめでとうございます。

2020年は新型コロナに始まり、新型コロナに終わった1年でした。昨年のご挨拶では、ラグビーワールドカップでの日本チームの活躍を例に挙げて、‘one team’ となってトライを目指す彼らの姿に、医療職も学ぶべきところが多いのではないかと提起しましたが、奇しくも、当院スタッフの新型コロナウィルスに取組む職員の姿に、‘one team’ としての結束を垣間見たように思います。

さて、新しい年の医療活動は、社会経済活動と同様に、新型コロナの影響がどの程度払拭されるのか、その一点に集約されると言っても過言ではないように思います。ワクチンの開発によって長いトンネルの出口が見えてきたような気もしますが、高齢者の多い東讃地区では、一刻も早く、施設入所者や医療従事者に接種を開始して頂きたいものです。そして、できれば6月以降には、昨年同様の医療活動や経済活動が再開され、当院の収益も安定して欲しいと願っています。

一方、新型コロナの話に隠れて目立ちませんが、中央での議論を見ていると、安倍内閣が掲げた「公立・公的病院再編」や「働き方改革」の問題が矛を収めたわけではなく、新型コロナの問題が影を潜めるのを待っていたかのように議論が再燃しそうな気配も窺えます。

ただし、今回の感染症でも明らかになったように、旧二次保健医療圏には少なくとも1カ所の‘感染対策拠点病院’は必要であり、その意味では当院が東讃地区において果たしている役割は大きく、経営効率だけで「再編や統合」議論の対象となることには疑問を感じざるを得ません。

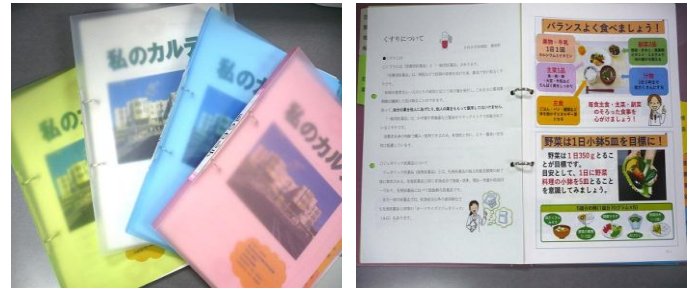
また、当院は‘周産期医療の拠点’でもあり、昨年までの交渉と活動によって、10月から常勤医師が着任したことで、「セミオープンシステム」が本格的に稼働すれば、念願の分べん再開（ただし、経産婦が主体）も可能になりました。

以上のように、「地域医療」のあるべき姿については、国が求める理想像を疑問視しながら当院の目指すべき針路を決めなくてはなりません。教育が‘人を育てる’文化であるならば、医療は‘人を癒す’文化であり、どちらも地域住民にとって不可欠である以上、経済的な理由での安易な迎合や妥協は回避すべきと考えます。

以上、新年を迎えて当院の方向性について述べてみました。末筆ながら、本年が皆様にとって穏やかで良い年になることを祈念いたします。

■「私のカルテ」について

当院では、患者さんのご希望に応じて「私のカルテ」を発行しています。これは、当院で診療を受け、書面にて提供された各種資料等を患者さんご自身がファイルに収納・保管いただき、ご病気の状況管理や健康増進に努めていただくためのお手伝いをさせていただきます。ご希望される方は、下記の窓口にてお声かけください。



【お渡し場所】 当院1階総合受付カウンター①入院案内・文書受付

【料金】 無料（初回に限る。）

◎産婦人科に新しい常勤医師が着任しました

令和2年10月1日に着任した神余（しんよ）と申します。高校までは丸亀で育ち、岡山大学卒業後産婦人科に入局しました。主に岡山、広島、山口の病院で勤務したのち、平成17年より香川県に戻り、直近としては高松赤十字病院、香川県済生会病院で診療を行ってまいりました。この度は、香川大学周産期科女子診療科の先生方と当院の助産師さんと共に、さぬき市・東かがわ市の分娩を再開できることに喜びを感じております。妊婦さんが、少しでも家の近くの病院で、安心して出産できる体制をこれから整えていきたいと存じます。分娩室の改装工事が終了する年明けから、助産師が中心となって分娩対応を行う院内助産を開始する予定です。どうぞよろしくお願い申し上げます。

◎ハーフバースディのイベントを開催しています



分娩休止後、セミオープンシステムを開始してから1年が過ぎました。分娩休止後もさぬき市民病院で出産したい、という嬉しいお言葉をたくさんいただいております。現在、当院での分娩はできませんが、笑顔で楽しく子育てができますよう、地域の母子に寄り添った支援を目指して活動を行っています。

その活動の一つに、妊婦健診や産褥入院、2週間・1ヶ月健診を当院で行って下さった母子を対象に、感染対策を十分に行った上で、ハーフバースディのイベントを行っています。

コロナ禍で外出が難しく、同年代の子供を持つお母さんとの交流の機会が極端に減っている中、子育ての相談ができる場所を提供し、子育てで忙しい中のちょっとした息抜きになればと思っています。

毎日育児を頑張ってお母さん方を労い、育児や離乳食などの相談を受けたり、情報交換を行ったりしています。半年という節目を迎えられた母子と半年ぶりに再開でき、大きく成長した子供達に私達もたくさんの笑顔と元気をいただいております。今後も地域に住む母子に寄り添い、少しでも楽しく子育てができますよう支援させていただきます。



■新型コロナウイルス感染症対策について

新型コロナウイルス感染症対策について、当院でも院内感染防止対策委員会が中心となり、患者さんに安心安全な医療を提供できるよう日々対策に取り組んでいます。地域の皆さんに安心して受診していただける環境づくりを目指していますので、皆様のご理解とご協力をお願いします。

当院での取り組みの一例をご紹介します。



入館制限

正面入口や時間外救急入口に、入院患者さんへの面会を制限する掲示を行い、付き添いの方以外の方の入館をお断りするなど感染の状況により、入館制限することで感染拡大防止に努めています。



サーマルカメラの設置

正面玄関入口に、非接触で効率的に体温を測定できるサーマルカメラを設置し、入館者の体温を係員がチェックさせていただいております。



マスク・手指消毒

正面玄関では係員が、来院するすべての方を対象とし、マスク着用・手指消毒をお願いしています。



アルコール消毒

感染予防のため、定期的に消毒を行っています。



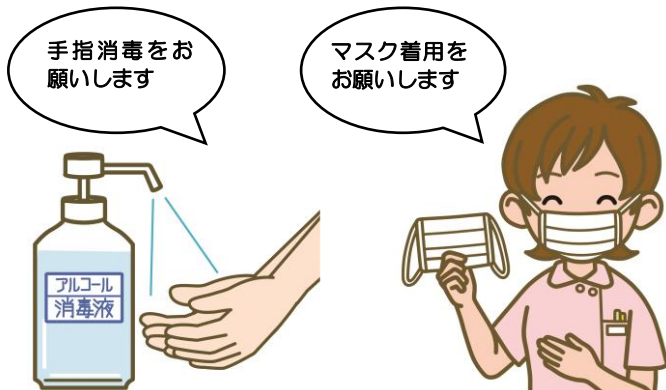
飛沫感染防止策

総合受付や各診療科受付、病棟窓口に、飛沫感染防止シートを設置しています。



密集を防ぐ対策

待合の椅子は密にならないように、間隔を空けてお座りいただいております。



◎令和2年度第1回自衛消防組織総合訓練実施

11月25日(水)、防火訓練を実施しました。訓練内容は、当院の電気室から火災が発生した場合を想定し、職員が迅速かつ的確に対応できる技術を習得することを目的に、訓練を実施しました。通報、初期消火、物品搬出等の訓練を重点的に行いました。今後も、さまざまな状況を想定した訓練を行い、職員が迅速かつ確かな行動をとれるよう、必要な技術の取得に努めていきたいと思っております。



■消火活動



■館内放送

♪ Merry Christmas ♪

今年のクリスマスツリーは、職員が心を込めて手作りしたクリスマスツリーをエントランスホールの壁面に飾りました。



また、12月24日には、ご来院の皆さまに、コロナ禍ということもあり、心あたたまる贈り物をお届けできればと、サンタの衣装に着替えた介護福祉士さんが、ささやかなクリスマスプレゼントをお配りしました。



■香川県 CHEST 研究会の研修会開催

2020年11月27日(金)に、第103回香川県CHEST(チェスト)研究会がオンライン会議システム”Zoom”を用いたリモート形式にて開催されました。香川県CHEST研究会は、呼吸器リハビリに興味のある医療従事者の方々と共に勉強する会です。今回は、当院の呼吸器内科主任部長 南木伸基先生が「感染症と呼吸器疾患～COVID-19を中心に～」という題名で講演されました。現在も日本全体で新型コロナウイルス感染症が拡大しており、非常にタイムリーな内容で、基本的な内容から現在までに明らかになっていることなどを講義していただき、受講された先生方にとっても非常に勉強になったものと思います。



10月、当院正面玄関脇の花壇に、香川県立石田高等学校の生徒さんが、パンジーなどのお花を植えてくれました✿



— 地域医療部・総合支援室より —

新年明けましておめでとうございます。旧年中は地域医療機関・施設の皆さまには大変お世話になりました。総合支援室では、前方連携と後方連携のスタッフが担当しています。前方連携は、紹介予約や、転院患者さんの受け入れ調整をスムーズに行えるよう、患者さんのサポートを行っております。また、後方連携では、患者さんの退院支援を早期介入し、患者さん・ご家族の方の思いを傾聴し、地域医療機関・施設との連携に努めております。昨年は、新型コロナウイルスにより面会制限による患者さん・ご家族の方、施設スタッフとの情報共有に、当初は戸惑いも見られましたが、患者さん・ご家族の方の思いを尊重し退院支援に奮闘しました。コロナ禍においても、

地域の皆さまに信頼される総合支援室を心がけております。今年度も宜しくお願い申し上げます。



新人スタッフ紹介

1月から新たな職員が加わりましたので、ご紹介します。

とよしま **豊嶋** ももこ **桃子**

【研修医】小児科

精一杯頑張ります。よろしくお願いいたします。

わたなべ **渡邊** いっき **一輝**

【研修医】内科

精一杯頑張りますので、よろしくお願いいたします。

かわなか **川中** ゆい **結以**

【研修医】内科

一生懸命頑張ります。よろしくお願いいたします。

◎植栽ボランティア

11月26日(木)、ボランティア団体「クローバーの会」の会員の皆さんと、寒川小学校の生徒さん約50名の皆さんが、当院の正面駐車場歩道脇に色とりどりのパンジーを植えてくださいました。

